

# 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の 1  
名称 一般社団法人霧島工業クラブ  
代表者氏名 代表理事 下森 康玄

## 1 事業の経過及び成果

令和2年度は、主な活動方針を①「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援 ②地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ③例会の充実 ④産学官の緊密なネットワークづくり ⑤組織の充実としましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3密を避ける等の感染防止対策を講じながらの活動となり、当初予定した事業の実行が大きく制約されました。

① については、5月13日～5月16日の3泊4日間の予定で、ウランバートルのモンゴル日本センターにてモンゴル3高専合同企業説明会を開催の予定でしたが、4月7日から5月6日まで東京をはじめとする7都府県に緊急事態宣言が発令されたことにより中止を余儀なくされました。

また、令和元年6月に卒業したモンゴル高専生の新卒者について、大淀開発(株)、マトヤ技研工業(株)、(株)メタル・テクノ、(株)京都スパーサーの計4社に6名が内定していましたが、大淀開発(株)の2名についてはモスクワ経由で来日できたものの、3社については新型コロナウイルスの感染拡大の影響で日本政府の空港における水際対策のためウランバートルからの飛行機が運休となっていることからモンゴルにて現在も待機中であり運航の再開を待っている状況です。

② については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始されていますが、当クラブの特別会員として在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行いました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、対面の相談からオンライン等での開催できるものについては、極力オンラインで開催されました。

③ については、例会時に4回の特別講演を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、8月の講演は中止を余儀なくされました。以下、開催状況です。

7月度例会では、新型コロナウイルス感染症対策として開発されました以下の3つの新製品のご紹介を都城高専と2社の会員企業様にお願いました。

(1) 都城印刷株(株)による「飛沫感染対策アクリルパーテーションの自社生産と販売について」

- (2) 都城高専による「都城市郡医師会病院の連携で、KOSEN フェイスシールドの開発へ」
- (3) 宮崎日機装(株)による「深紫外線LED 搭載の空間除菌消臭装置(エアロピュア)について」

8月度例会では、一般社団法人トラストコーチングの川越くみ先生に、「新型コロナの影響により変化する労働環境や雇用環境への対応」と題して、ウィズコロナ、アフターコロナのために、企業が少しでもストレスを減らしながら、従業員とのチームビルディングや顧客対応ができるよう対策を考えるヒントを得られる講演会を開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染者の増加を受け、中止となりました。

10 月度例会では、都城工業高等専門学校機械工学科准教授の白岩寛之先生に「省エネ機器開発に関する産学連携研究」という演題にて、ご講演いただきました。産学連携において、都城工業高等専門学校のシーズ(研究)と企業のニーズ(技術開発・商品開発)のマッチングを図るべく、都城工業高等専門学校の先生方の研究内容を広くご紹介していく企画でした。ご講演を会員企業の皆様も大変興味深く拝聴されておりました。

12 月度例会では、都城高専・地域連携テクノセンター長(校長補佐)の高橋明宏先生に「都城高専専攻科研究発表会の各研究テーマの研究概要の解説」という演題にて、12月18日に開催の「都城高専専攻科研究発表会」の各研究テーマについてその研究概要を分かりやすく解説していただきました。「都城高専専攻科研究発表会」では、機械電気(機械)工学専攻が5テーマ、機械電気(電気)工学専攻が3テーマ、物質工学専攻が4テーマ、建築学専攻が4テーマの計16テーマの研究テーマを専攻科の学生が発表しました。

上記例会の他に、令和3年2月19日にリモート(zoom)によるオンラインセミナーとして、一般社団法人トラストコーチングの森真貴子先生の「リモートワーク時代の1on1に求められるコミュニケーションとは?」という講演をご案内させていただきました。本セミナーでは、リモートワークの現場で生じる不安や課題に対し、リーダーや管理職の皆様がどのようなコミュニケーションをするのが効果的なのか、ポイントを解説し、また、教育生産性を上げ、効果的に学習と実践を繰り返しながら成長サイクルをつくる、昨今注目の教育システムについてもご紹介がありました。

また、8月7日に、都農町の(株)ミヤチクと霧島工業クラブ会員企業のソーラーフロンティア(株)の工場を見学させていただく予定でしたが、高鍋町にて新型コロナウイルス感染症のクラスター(感染者集団)が発生したことを受け、県はコロナ緊急警報を発令し、都農町は道の駅「つの」等の公共施設を休業することを決定したため、中止を余儀なくされました。

新型コロナウイルス感染拡大収束状況によっては、令和3年度に再度企画の予定です。

(1) (株)ミヤチクは、衛生管理基準の特に厳しい欧州連合（EU）への輸出にも対応する最新鋭の食肉処理加工施設となっており、新工場の大きな特徴としては、牛と豚の処理工程を完全に分離し、冷却機能などを強化したこと、また動物福祉（アニマルウェルフェア）を重視するEUへの輸出に対応するため、係留所内に給餌・飲水や換気設備を造り、1頭あたりのスペースも広くしてストレス軽減へ配慮している点が挙げられます。

(2) ソーラーフロンティア(株)は、経済性に優れ、環境に優しい CIS 薄膜太陽電池の開発・生産・販売を一貫して手掛けられており、1970年代から太陽電池の技術開発に取り組み、CIS 薄膜太陽電池の研究開発も20年以上にわたり、2007年より CIS 薄膜太陽電池の商業生産を開始し、「メイド・イン・ジャパン」の品質を世界中のお客様へ提供しています。

④ については、都城高専地域連携センターやキャリア支援室と連携し活動を行いました。

- ・高専在校生向け就職支援講演会への会員企業からの講師派遣

10/28 株式会社メタル・テクノ 常務取締役工場長 永久井賢一氏

12/9 日本情報クリエイティブ株式会社 管理部人事課課長 大村幸太郎氏

1/6 宮崎日機装株式会社 航空宇宙工場生産技術部 長倉佳奈氏

1/13 大和開発株式会社 建築部（施工管理） 仁田脇一葉氏

- ・合同企業説明会共催

例年、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに翌年春より就活を開始する本科4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、当クラブと共催にて合同企業説明会を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により3密を避けることが求められ、第一体育館に各企業のブースを設けて学生が各企業のブースを訪問するスタイルが取れないため、企業紹介パンフレット（参加企業43社）を作成し学生に配布後、特別活動の時間に学生に閲覧してもらう事としました。（令和2年11月18日（水）14:40～16:10（特別活動時間90分間）

- ・インターンシップへの協力

・ロボコン支援（10/28オンライン（ZOOM）にて内覧会・11/29 全国高専ロボコン（特別賞）受賞）

- ・おもしろ科学フェスティバル後援（3/14）

・新規卒業生やUターン希望者の就職受け入れ（特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けUターン希望者増加）

令和2年度都城市企業立地推進ネットワーク会議は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、下記の資料提供のみとなりました。

- ア. 企業立地の現状、取組み等について
- イ. 都城インター工業団地桜木地区の分譲要項
- ウ. 市の優遇制度について

- ⑤ については、会員企業数を令和元年度より1社増を目指し55社を目標としましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4社減の合計51社となりました。

## 2 事業内容

### (1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

- ・10月度例会にて、都城工業高等専門学校の研究者のシーズの紹介を実施し、企業のニーズとのマッチングを図りました。

- ・12月18日に霧島工業クラブ会員企業、同窓会OB・OG、行政関係者や宮崎県工業技術センター研究員等の学外者を招いて、都城高専専攻科研究発表会が開催されましたが、参加者からの評価は極めて高く多くの参加者から令和3年度以降の開催の要望が出されていることから、今年度に引き続き令和3年度以降も継続して開催予定です。

- ・12月度例会では、都城高専・地域連携テクノセンター長（校長補佐）の高橋明宏先生に「都城高専専攻科研究発表会の各研究テーマの研究概要の解説」という演題にて、12月18日に開催の「都城高専専攻科研究発表会」の各研究テーマについてその研究概要を分かりやすく解説していただきました。

- ・「鳩認識による鳥害対策」や「スペアナ測定」についての技術相談がありました。

### (2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

「都城圏域産学官金交流会」を8月21日に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い対面での面談が厳しい状況となる中、県より「感染拡大緊急警報」が発令された為、都城市の指導に従い急遽中止としました。

### (3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

#### 例会時特別講演

#### ① 実施期日：令和2年7月22日

演題：「飛沫感染対策アクリルパーテーションの自社生産と販売について」

講師：都城印刷株式会社 企画部 企画課 課長 中森 幸彦氏

演題：「都城市郡医師会病院の連携で、KOSEN フェイスシールドの開発へ」

講師：都城工業高等専門学校 技術支援センター 技術専門員 津浦 洋一氏

演題：深紫外線LED搭載の空間除菌消臭装置（エアロピュア）について

講師：宮崎日機装株式会社 理事 柏木 新一氏

② 実施期日：令和2年10月8日

演題：「省エネ機器開発に関する産学連携研究」

講師：都城工業高等専門学校 機械工学科 准教授 白岩 寛之氏

③ 実施期日：令和2年12月18日

演題：「都城高専専攻科研究発表会の各研究テーマの研究概要の解説」

講師：都城工業高等専門学校 地域連携テクノセンター長 高橋 明宏氏

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

① 高専ロボコン見学会

期日：令和2年10月28日（於：都城高専技術支援センター）

内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会

オンライン（ZOOM）にて会員企業へ動画配信

「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈

② 企業視察研修会

期日：令和2年8月7日開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から中止となりました

視察先：(株)ミヤチク、ソーラーフロンティア(株)国富工場

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

① 宮崎県産学官交流会

本県工業の振興、さらには地域社会の発展のため、県内企業や関係団体が、業種、業態等の相違にかかわらず交流を深めることを目的に例年開催されますが、令和2年度は役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。

② (一社)宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会

例年、(一社)宮崎県工業会の都城市を中心とする県西地区部会の会員企業26社による総会と交流会が開催されますが、令和2年度は役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。

③ 第27回技術・研究発表交流会

産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会（宮崎県産学官連携コーディネーター講演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー）、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果報告、ポスター展示、発表（ディスカッション）を開催

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融等に携わる方

令和2年9月17日開催（於：宮崎市民プラザ）

④ 都城市企業立地推進ネットワーク会議

都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体となった企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関するPR力及び企業立地に役立つ情報収集力の強化を図ることを目的とする。企業立地の現状、取組、優遇制度の改正等、意見交換

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方  
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、下記の資料の提供のみとなりました。

- ・企業立地の現状、取組み等について
- ・都城インター工業団地桜木地区の分譲要項
- ・市の優遇制度について

⑤ 都城市産業活性化講演会

都城市と都城市認定農業者等協議会が主催し、当クラブを含む9団体が後援して、都城市の農業者と商工業者が一堂に会し、取り巻く社会情勢の課題と将来への展望を明らかにして、地域のリーダー・経営者として地域とともに発展することを目指して開催

参加者：行政、商工、農林業、金融等に携わる方

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

⑥ 都城高専4年生校内研修

都城工業高等専門学校では、夏にインターンシップを控え翌年に就職活動がはじまる4年生に対し校内研修を開催していますが、その目的は、学業及び生活面における自主性と責任感を自覚させ、また、卒業後の就職や進学に向け現在の学生生活の在り方を考えさせることです。この研修で、令和2年4月24日（金）に都城工業高等専門学校専攻科研究棟2階の多目的ホールで（株）川原田工務店代表取締役の谷口伸一郎氏の講演が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

尚、令和3年度以降は、コロナ禍での開催となった場合は、オンライン講演の形式で開催予定です。

⑦ 都城工業高等専門学校・就職支援講演会

都城工業高等専門学校ではキャリア教育の一環として、本科低学年生（1～3年生）を対象とし、高専OB・OGをはじめとする企業人を講師に招き、毎年就職支援講演会を開催しています。特に、3年生は4年生の夏休みには全員インターンシップに参加することになり、翌年の春には実質的な就職活動が始まる為、なるべく早い時期から、企業研究をスタートすることが重要となってきており、当クラブ会員企業より以下の講師を派遣しました。

実施期日：令和2年10月28日

演題：「メタル・テクノの紹介と地元企業で働く魅力」

講師：株式会社メタル・テクノ 常務取締役工場長 永久井賢一 氏

実施期日：令和2年12月9日

演題：「我社の魅力と働き甲斐について」

講師：日本情報クリエイティブ株式会社 管理部人事課課長 大村幸太郎 氏

実施期日：令和3年1月6日

演題：「我社の魅力と働き甲斐について」

講師：宮崎日機装株式会社 航空宇宙工場生産技術部 長倉佳奈 氏

実施期日：令和3年1月13日

演題：「地元企業・大和開発株式会社で働く魅力」

講師：大和開発株式会社 建築部（施工管理）仁田脇 一葉 氏

⑧ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

毎年、都城工業高等専門学校と当クラブが共催し、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として、都城工業高等専門学校の都城高専第一体育館にて合同企業説明会を開催していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避の観点から中止とし、掲載のお申し込みのありました会員企業43社による企業紹介パンフレットを作成し、学生に配布し、学生は特別活動（90分間）に興味のある企業のホームページや製品情報の閲覧を行うことになりました。

⑨ 都城工業高等専門学校・第6回おもしろ科学フェスティバル

都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支えるための人材育成に寄与する目的で開催した「第7回おもしろ科学フェスティバル」を後援しました。

開催日時：令和3年3月14日（日） 10時 ～ 15時

場所：旧小倉建設倉庫（宮崎県北諸県郡三股町大字樺山4573番地）

来場者数：計278名（子ども・保護者）

⑩ 令和2年度都城高専評議員会

都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項について審議し、学校長に対し助言を行うことを目的として設置されている評議員会に、毎年、評議員として当クラブ代表理事が参加していますが、「都城高専専攻科研究発表会継続開催のお願い」の要望書を提出させていただきました。都城工業高等専門学校では、評議員からの意見等を踏まえ、今後の教育研究や学校運営等に活かしています。

開催日時：令和3年2月26日～3月15日

場所：書面会議

⑪ 都城工業高等専門学校・国際交流事業への協力

都城工業高等専門学校では、国際交流事業の一環として、さくらサイエンスプランにてモンゴル高専生やミャンマー大学生を受け入れており、また、ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）と学術交流に関する覚書（MOU）を締結し学生交流及び学術交流を促進していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の水際対策により訪日がかねわず、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）に、モンゴル国高専生及び都城高専学生がオンライン交流をすることとなりました。

さくらサイエンスプランにおける学生のオンライン交流では、「モノづくり」をキーワードとした都城ーモンゴル3高専共同の実践的技術者キャリア形成をテーマに、霧島工業クラブ会員企業の講師による講演会を実施し、また、日本の高専とモンゴル3高専の学生同士の意見交換を実施しました。

【講演会】 【講師】

1月21日 大和開発株式会社 建築部（施工管理） 仁田脇 一葉 氏

1月22日 日本情報クリエイティブ株式会社 人事課課長 大村幸太郎 氏

【交流会】 【日本企業に就職しているモンゴル高専出身者2名】

1月23日 大淀開発株式会社

SUGJIN BAT ERDNE さん（科技大高専出身）

NERGUI AMARBAYASGALA さん（モンゴルコーセン出身）

（6）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

実施事業なし